

2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ャ ノ メ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 齋 藤 真
(コード：6445 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 専 務 執 行 役 員 土 井 仁
(TEL 042-661-3071)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 5 月 9 日に公表した 2026 年 3 月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期の連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	40,000	2,500	2,400	1,500	83 円 93 銭
今回修正予想 (B)	35,000	1,300	1,200	200	11 円 19 銭
増減額 (B－A)	△5,000	△1,200	△1,200	△1,300	—
増減率 (%)	△12.5%	△48.0%	△50.0%	△86.67%	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	36,340	2,224	2,261	1,794	98 円 86 銭

2. 修正の理由

家庭用機器事業におきましては、北米では中・高級機種の販売は堅調に推移している他、国内外で新機種の投入による販売拡大に努めたものの、アジア市場における前期好調の反動減や欧州を中心とした厳しい競争環境等の影響により、販売台数は大幅に減少しており、売上高・利益ともに当初予想を下回る見込みとなっております。

産業機器事業につきましては、企業の設備投資環境にも改善が見られる中、国内外の展示会への積極的な出展や顧客ニーズに合わせたカスタマイズ装置の提供によるラインナップの拡充等に取り組み、受注獲得に向けた活動を強化しました。その結果、ロボット・プレス事業、ダイカスト事業ともに足元の受注状況は回復傾向にあります。しかしながら、高止まりする原価率等の影響をカバーする利益確保には至らず、経営環境は厳しい状況が続いております。

その他、資本効率向上に向け、保有資産の見直しによる非事業用資産等の売却を前倒しで推し進めております。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想を上記のとおり、修正いたします。

なお、中間配当及び期末配当予想の変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表当日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上